平成２９年度第２回四街道市総合計画審議会会議録

日　　時	平成３０年２月２０日（火）１０時００分～１２時００分
場　　所	四街道市保健センター３階大会議室
出 席 者	大下会長、伏見委員、鈴木委員、森竹委員、山口委員 櫻井委員、伊藤委員、志津委員、平川委員、松隈委員 横内委員、荻津委員、松山委員
欠 席 者	石川委員、成田委員
事務局出席者	藤森経営企画部長、永易経営企画部次長、石渡政策推進課長 荒巻主幹、榎本主査補、大坂主査補、川田主任主事
傍 聴 人	３名

【事務局】

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから平成２９年度第２回四街道市総合計画審議会を開催いたします。

本日は、１３名の出席をいただいております。総合計画審議会条例第７条第２項に規定する過半数に達しておりますので､本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします｡なお、石川委員、成田委員より欠席の連絡をいただいておりますので併せてご報告いたします。

それでは会議に先立ちまして大下会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長】

おはようございます｡第２回総合計画審議会を開催するに当たり､一言ご挨拶申し上げます。

前回開催された第１回会議では、策定方針、スケジュール、市民意識調査などのご報告がありましたが、第２回目となる本日は、前期基本計画の達成状況と後期基本計画骨子案を事務局からご報告・ご説明をしていただきます。

このため、本日以降いよいよ後期基本計画策定に向けた議論が本格化していくものと考えます。本日もお手元に多くの資料が配られておりますが、限られた時間のなか有意義な議論をしていきたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から積極的にご意見を頂戴できれば幸いです。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

【事務局】

ありがとうございました。議事に入ります前に、本日の資料の確認と差し替え資料のご説明をさせていただきます。

事前にお送りいたしました資料としまして、

【資料１】四街道市前期基本計画に係る達成見込み（案)、

【資料２】四街道市総合計画後期基本計画基礎調査（案)、

【資料３】四街道市後期基本計画課題マップ（案)、

【資料４】四街道市後期基本計画骨子（案）、
【資料５】分野別基本計画の骨子の考え方、
以上５点となります。
　このうち、お手元に配布いたしました
【資料２】四街道市総合計画後期基本計画基礎調査（案）、
【資料５】分野別基本計画の骨子の考え方
の２点が差し替えの資料となります。
　こちらの２点については、誤字、脱字等の修正を加えさせていただいた部分がございます。大変ご迷惑をおかけしますが、委員の皆様、お手持ちの資料の差し替えをお願いいたします。
　なお、参考までに「るるぶ四街道市」の最新版も配布させていただきましたのでご覧いただければ幸いです。資料は以上になりますが、不足等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。
　それでは、さっそく議事に入らせていただきたいと思います。会議の進行につきましては、四街道市総合計画審議会条例第６条第３項により、会長が議長となる旨、規定されておりますので、大下会長にお願いいたします。大下会長、よろしくお願いいたします。

【会長】
　議事に入る前に、本日の会議の議事録署名人を指名させていただきます。平川委員、荻津委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（各委員）
　　（承認）

【会長】
　それでは、議事録署名人を平川委員、荻津委員にお願いいたします。さっそく会議に入らせていただきたいと思います。まず、本日の会議の公開・非公開につきましては、「四街道市審議会等の会議の公開に関する指針」の規定により、公開とさせていただきます。会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、傍聴人の閲覧に供するものとしますが、このうち会議次第については、配布するものといたします。しかしその他の資料につきましては、今後の審議において変更する可能性がありますことから、会議終了後に回収することとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（全委員）
　　（承諾）

【会長】
　よろしいでしょうか。
　それでは特にご異議がありませんので、本日の会議は公開ということで進めさせていただきたいと思います。事務局は傍聴の方がいらっしゃいましたら入室させてください。

【事務局】
　３名いらっしゃいますので、ただ今から入室していただきます。

（傍聴人入室）

【会長】
それでは議事に入ります。本日の議事は、
（１）四街道市総合計画前期基本計画達成状況について
（２）四街道市総合計画後期基本計画について
です。始めに（１）四街道市総合計画前期基本計画達成状況について、事務局より説明をお願いします。

～四街道市総合計画前期基本計画達成状況～

【事務局】
本日は、議題１「四街道市総合計画前期基本計画達成状況について」と議題２「四街道市総合計画後期基本計画について」でございますが、議題２のボリュームが大変多いことから、本日の議題１の「四街道市総合計画前期基本計画達成状況」につきましては、特に遅れが見込まれる事業を中心に本審議会に報告をさせていただきたいと思います。
今後、さらにこの内容を精査しまして、来年度の早い時期には前期基本計画の達成見込み案をお示しさせていただきたいと考えておりますので、大変恐縮ではございますが、本日は現況のみのご報告とさせていただきます。
最初に、お手元にご用意いたしました「総合計画書」の２ページ目をご覧ください。改めて申し上げますと、本市の総合計画は、基本構想と基本計画で構成されています。基本構想は、市のまちづくりの最上位の方針として、長期的な展望に立って、市の基本理念、将来都市像や基本目標などを定めたものです。基本構想の計画期間は平成２６（２０１４）年度から３５（２０２３）年度の１０か年となっています。
そして、基本計画は、この基本構想を実現するための施策を定めるものとして、基本構想の計画期間である１０か年のうち、当初の５か年を前期基本計画として、残りの５か年を後期基本計画として策定することとしております。
まず、最初に前期基本計画全体の体系図ですが、４４ページをご覧ください。
前期基本計画は、基本構想に掲げる将来都市像を実現するため、６つの基本目標と４７の施策、１３４の具体的な取り組みを体系的に定め、計画的な事業の推進に努めているところでございます。
今回の評価につきましては、さらにこの具体的取り組みの実現に向け、事業ベースにおいて、延べ２２４事業を計画事業として設定し、この事業について評価を行ったところでございます。
重複を除きますと全体では、１９５事業となります。
それでは、資料１をご覧ください。
こちらの総括表は、計画事業を集計したものでございます。

集計は、基本目標ごと、リーディングプロジェクトである「四街道未来創造プロジェクト」ごと、そして、重複事業を除いた事業の３つの区分に分けてまとめています。

現時点での評価見込みでは、計画以上の取り組みを行った事業を◎で、計画通りの取り組みは○で、概ね計画通りの事業を●で、計画に遅れが生じているものを△で、再検討・中止が生じた事業を▲で、施設の廃止、凍結等がなされた評価対象外事業をーで記載しています。

最初に「（１）基本目標ごとの達成見込み」でございますが、計画全体では、「◎：計画を上回る達成」が７事業、「○：計画どおり達成」が１３１事業、「●：計画は概ね達成」が４１事業、「△：計画に遅れ」が２８事業、「再検討・中止」が１０事業、事業評価対象外が７事業で、「計画どおり」と「概ね計画通り」を合わせた達成度は８２．５％となっております。

次に「（２）四街道未来創造プロジェクト」全体での達成見込みでございますが、「◎：計画を上回る達成」が１事業、「○：計画どおり達成」が１８事業、「●：計画は概ね達成」が６事業、「△：計画に遅れ」が３事業、「再検討・中止」が４事業、評価対象外が２事業で、達成度は７８．１％です。

最後に（３）重複分を除いた１９５事業の達成見込みでございますが、「◎：計画を上回る達成」が７事業、「○：計画どおり達成」が１２３事業、「●：計画は概ね達成」が３２事業、「△：計画に遅れ」が２０事業、「再検討・中止」が８事業、事業評価対象外が５事業で、達成度は８５．３％でございます。

次のページからは基本目標ごとに各個別事業の評価と事業概要などを記載しています。

項目は、左から前期基本計画の体系を記載したものでございまして、中央の事務事業名が該当する事業名称となります。

そして、その右横の「未来創造」につきましては、リーディングプロジェクトに該当する事業を記したものです。この内容については、上部の凡例をご参照ください。

さらに右横には、事業概要を記載しておりまして、次の備考欄には、遅れが生じている評価等について、その理由を記載しています。

ここでは、計画に遅れが見込まれている主な事業をご報告させていただきます。

最初に４ページの施策１２「地域防災力の向上」「（４）備蓄・物流体制の整備」の「防災備蓄倉庫整備事業」をご覧ください。

四中地区の防災センターの整備は完了したものの、鷹の台地区、北中地区の防災備蓄倉庫の整備について、地元との調整等に時間を要しており遅れが生じています。

次に、その下の施策１３「防災都市基盤の強化」「（１）防災拠点等の整備」の「庁舎等整備事業」でございます。

庁舎整備基本計画案について、関係機関等との調整に時間を要したため、庁舎整備に遅れが生じています。

そして次の５ページ、「（３）建物の耐震化の推進」の「文化センター管理事業」でございます。

耐震改修工事について、効果的な国等の財政支援を活用するため、時間を要しており遅れが生じています。

次に７ページ、施策１７「義務教育の充実」「（２）教育環境の整備」の「共同調理場施設整備事業」でございます。

北部共同調理場の移転方針等が定まらずにスケジュールを変更したため遅れが生じています。

そして次の８ページ、「（２）教育環境の整備」の「小学校施設大規模改造事業」と「中学校施設大規模改造事業」でございます。

こちらは、八木原小学校、千代田中学校の改造手法の見直しにより、スケジュールを変更したことから遅れが生じています。

次に１０ページの施策２３「スポーツ・レクリエーション環境の整備」「（１）スポーツ・レクリエーション施設の整備」の「武道館建替事業」でございます。

効果的な国等の財政支援や実施手法を検討していることから遅れが生じています。

次に１４ページの施策３４「道路網の整備・拡充」「（２）都市計画道路等の整備」の「３・４・７号南波佐間内黒田線整備事業」でございます。

こちらは、関係機関との協議に時間を要し、スケジュールに遅れが生じています。

以上が主なものでございますが、建物の建て替えや改修、工事関係などの事業に遅れが生じている傾向となっています。

なお、評価対象外とした事業は、３ページの「障害者支援施設の運営」、「（１）障害者就労支援センターの運営」の各事業ですが、これは施設の廃止に伴うものでございます。また、１５ページの施策３８「都市核の計画的な形成」「（１）都市核の整備」の「四街道駅北口広場再整備事業」は、市民参加条例に定める市民参加手続きなどにより、市民意見を踏まえ凍結した事業となっています。ここまでが前期基本計画の達成見込みの状況でございます。以上、事務局からの説明となります。

【会長】

ただいま事務局からご説明がありました。

前期基本計画につきましては、あと１年間計画期間を残していることから、現時点での想定をご報告いただいたものと考えますが、議題１につきましては、ご質問・ご意見等、何かありましたらお願いします。いかがでございますか。

【会長】

１つお伺いしたいのですが、評価の中で「○：計画どおり達成」と「●：計画は概ね達成」というのがありますが、この２つの評価の違い、基準などはありますか。

【事務局】

まず、我々の方で毎年この２２４事業の進行管理を行っております。その中で、計画に基づき着実に実行されているものについては、「○：計画どおり達成」という形で評価しております。「●：計画は概ね達成」につきましては、その進行管理の中で成果指標、活動指標の目標値を設定しておりますが、こういったものが達成できていないというものです。事業内容は達成されておりますので７～８割達成しているということで評価しているものです。

【会長】

わかりました。毎年管理している中で、計画どおり進んでいるものについて「○」、そして計

画の概ね７から８割は達成しているだろうと判断されたものが「●」と判定しているということですね。他に何かありますでしょうか。

【松隈委員】
１点質問です。２ページ目の障害者支援施設が廃止されていますが、「人にやさしい四街道市」のキャッチフレーズからすると、この事業は、他の事業に振り替えているのでしょうか。それとも完全に廃止しているものでしょうか。また、なぜ廃止になったのかその理由も含めて教えてください。

【事務局】
こちらはサンワークという施設を市が管理しておりましたが、この施設が廃止になったことから施設内の事業もできなくなったというものです。例えば「バイオディーゼル燃料精製事業」も廃止に伴い実施できなくなっております。なお、「就労支援」については、別途、障害者支援課の方で実施しているものとなります。

【松隈委員】
わかりました。もう１点質問ですが、達成度が比較的好調にあると感じますが、一番肝心な基本目標２の安全・安心に関する達成度が低い。ここが気がかりとなります。なぜ、こちらの達成度が低い結果となっているのか。安全・安心は、計画を作る際のメインテーマの１つでもありますので教えていただきたいと思います。
あと、総合計画書の３２ページに記載されております政策事業費ですが、実際、この予算はどの程度使われているのか。事業費を抑えながら達成できているものなのか。残り１年間の間に事業費として執行するのか、また、使われなかった予算は、後期計画に回されるのか。そのあたりがどのようになっているのか教えていただきたいと思います。

【会長】
２点ご質問がありました。１点目は、安全・安心の基本目標２の達成度がなぜ５８．１％と他の目標よりも低い状況にあるのか。先ほどのご説明の中では、毎年の進行管理の中で、担当課にヒアリングを行い、評価しているとのことですが、今後、この案がとれるよう詳細な状況を明らかにしていただけるものと考えますが、安全・安心が５８％と低くなっている理由として、何かお答えいただけるものがあればお願いしたいと思います。また、もう１点目は、予算との関連性が指摘されていました。この点についてもご回答をお願いします。

【事務局】
まず１点目の安全・安心についてお答えします。安全・安心に位置付けられた事業を見ていただきますとおわかりになると思いますが、「再掲」している事業がかなりあるということでございます。「再掲」というのは１つの事業が重複して施策に位置づけられているものでございまして、このような再掲のある事業で遅れが生じますと、全体の達成率も下がってしまうという傾向があります。

例えば「地域災害対策事業」というものがございますが、こちらの事業で遅れが生じているということになります。こちらの事業は大変広い範囲の事業でございまして、今回、四街道地区備蓄倉庫の改修がメインで入っておりましたが、実施出来ていないということから遅れているという評価をしているものです。ただし、こちらの事業につきましては、この他にも防災資機材の整備をするなど、さまざまな取り組みを行っているところですが、メインでもある防災備蓄倉庫の改修が未実施であることから、「遅れている」という評価にしたものです。このため、再掲の事業すべてにおいて「遅れている」と評価したものとなっています。

次に２点目につきましては、現在、四街道市の財政状況は経常収支が９９．７％という厳しい状況にございます。このため、事業については交付金など可能な限り国の予算等を活用して事業を行うよう事業の見直しを行っているところです。

【松山委員】

最後にご説明のあった「四街道駅北口広場の整備」について凍結されているとのことですが、こちらは、働きざかりの人には非常に大事なことと考えています。老朽化と事業概要にも記載されているようですが、老朽化がどのあたりにあり、また、どのような内容で整備を進めようとしていたのか教えていただきたい。そもそも緊急性を要しなかったのではないですか。

【事務局】

こちらの事業は、四街道駅北口広場を再整備しデッキをとおすという事業でございます。現在、タクシープールで利用している広場を、一般車やバス乗降所として再整備するとともに、四街道駅からデッキを通って降りられるように整備する予定でした。当初、見込んでいた予算より事業費が拡大し、市民参加条例のパブリックコメント等の意見にも反対が多いことから、これらの意見を踏まえ、事業を凍結するものとしたものです。

【横内委員】

「計画に遅れ」と「再検討（中止含む）」にわかれていますが、「計画に遅れ」の部分は、今後１年間で達成することを目標として動いているということでよろしいですか。

【事務局】

計画的に事業を推進していくことが前提にありますが、今年に入りましてから各課にヒアリングを実施しました。その中で３０年度の事業見込み等もお聞きしたところ、予算がつかなかった事業もあり、３０年度の見込みとして「計画に遅れ」と判定させていただきました。今後、国の財政支援等を受けることで事業が進む可能性もあると考えますが、現時点では見込みとしてこのような評価としております。

【会長】

平成３０年度もう１年あるということで、ご尽力はいただいていると思いますが、遅れの理由を見てみますと、「関係機関との調整によって遅れが生じている」といったところもあります。そこは関係性という相手方がおられますので市が頑張ってもできない、ということも多々あろ

うかと思いますし、予算につきましても事務局からご説明ありましたとおり国等との支援を受けられるよう検討しながら事業を進めていただいているということでした。
詳細につきましては、平成３０年度予算が確定し、もう一度各課にヒアリングをしていただいた結果、それと５年間の進捗状況を加えて、今後、４月以降の会議の中でご報告がなされるということでよろしいでしょうか。

【荻津委員】
今度、佐渡市長が３期目に入られます。市長は「子育て日本一」というスローガンを掲げておられますが、総合計画の政策のなかでどのように反映していくのか、どのように配慮していけばよろしいのでしょうか。子育て日本一というのも日本一を目指すという段階のものと思われますが、今回、示された内容ではそこには触れられていないと思いますが、今後どのように反映されていかれるのでしょうか。

【会長】
たぶん後期基本計画のなかで、特に子育て日本一の中で関連する施策が大事になってくるというご指摘かと思いますが、現時点で何かありましたら事務局よりご回答いただければと思います。

【事務局】
この後の議題２の方で説明させていただいた方がよろしいかと思いますが、まだ、選挙が終わった直後で、今後に向けてのお話しはこれからという段階となりますので、ご理解ください。

【会長】
総合計画書の中で４４ページ、４５ページの前期基本計画の施策の体系がございますが、後期基本計画ですから、このなかの「基本目標」と「施策分野」はそのままということになりますが、中身の施策の詳しいところは後期基本計画に向けて変更はありうると思います。その中で「子育て日本一」に関係する話しが追記されているのか、次の議題のところで確認したいと思います。
それでは議事の（１）前期基本計画の達成状況については、ご意見等をいただいたものと思います。次に、本日のメインでもございます総合計画の後期基本計画について事務局よりご説明をお願いいたします。

～四街道市総合計画後期基本計画～

【事務局】
議題２の「後期基本計画骨子（案）」についてご説明します。
まず、後期基本計画の策定に当たりましては、後期基本計画策定方針にもございますとおり、市を取り巻く社会状況や行政需要の変化及び市民意識調査に基づく市民ニーズを把握・分析したうえで、これらの課題等を抽出し、この課題等に対応した後期基本計画を策定することとし

ております。
　このため、今回、基礎調査を実施し、この調査に基づき、課題等を抽出し、そして後期基本計画の骨子案を作成しましたので、皆様にお示しするものでございます。
　最初に資料２の「四街道市総合計画後期基本計画基礎調査（案)」をご覧ください。１ページめくっていただき目次をご覧ください。基礎調査の構成としましては、大項目として、５つほどございます。
「第１章　市の現況分析」、「第２章　社会経済情勢分析」、「第３章　上位計画の状況」、「第４章　市民ニーズの分析」、「第５章　後期基本計画における主要課題の抽出」とし、基礎調査をまとめております。
　この調査内容としましては、市の人口動態の分析と分野別の現況分析を行ったうえで、そこに社会経済情勢の分析や、上位計画の現況を把握し、市民ニーズ等の分析を踏まえて、第５章の「後期基本計画における主要課題の抽出」の項目において、全体のまとめを行っております。
　それでは、この基礎調査は大変ボリュームがございますので、この調査においては市の人口動態の概要のみを説明させていただきます。その他の分野につきましては、資料３にて説明をさせていただきます。
　まず、基礎調査の２ページをご覧ください。
総人口ですが、平成２７年の国勢調査で、はじめて日本の人口減少が記録されました。都道府県では８都県で人口増加、３９ 道府県で減少となっております。千葉県におきましては人口増加となっている状況でございます。
　ただし、千葉県内でも人口増加があった自治体は１５市町に留まっており、四街道市は平成２２年の国勢調査より２，５１９人増加し、８９，２４５人となるなど人口増加を継続しております。また、人口増加率は県内で４番目となっております。国勢調査後の平成２９年の千葉県毎月常住人口調査においても、９０，１４４人となるなど人口増加傾向は現在も続いております。これは、調査の中にございませんが、参考に平成３０年１月１日現在では９１，００７人となっておりまして、１年間に８６３人増加しています。
そして、地区別の人口を見てみますと、人口増加傾向の地区は、「めいわ」、「もねの里」となっておりまして、それぞれ千人以上が増加している状況でございます。
逆に人口減少傾向の地区は昭和４０年代から５０年代に整備された大規模団地である「千代田」、「みそら」、「旭ケ丘」の地区が多い傾向となっています。
　１世帯当たり人員では、減少傾向が続いており、核家族化が進行しています。
　年齢階層別人口では、本市は年少人口（千葉県 12.4%・全国 12.6%・本市 13.4%）と老年人口（千葉県 25.9%・全国 26.6%・本市 28.2%）の割合が高く、生産年齢人口（千葉県 61.7%・全国 60.7%・本市 58.4%）の割合が低い傾向にあります。特に本市は、団塊の世代である６５歳から７４歳までの割合が高い特徴があります。
　次に１９ページをご覧ください。
市の自然動態でございますが、本市の合計特殊出生率は、近年、印旛保健所管内、千葉県、全国を上回る上昇傾向で推移し、平成２８年に１．４６で、県内市町村の中では、木更津市、流山市に次ぐ、３番目に高い値となっております。
一方、死亡数の推移をみますと、平成１７年以降、増加傾向が続いておりまして、平成２４年

以降、死亡数が出生数を上回る自然減で推移しています。

なお、現在の状況ですが、平成３０年１月１日現在では、－１１３人（出生数 709 人、死亡数 822 人）の自然減となっており、近年では、最も多い減少となっています。

地区別での自然増減の傾向をみますと「めいわ」が最も自然増の傾向が強い地区となっています。一方で、昭和４０年代から５０年代に整備された「千代田」「旭ケ丘」等の大規模住宅団地では、自然減の傾向が強い地区となっています。

次に２６ページをご覧ください。市の社会動態ですが、継続的に社会増の傾向を維持しています。特に平成２６年以降は、転入者が増加しており、社会増の傾向が強くなっています。
平成２７年における転出入者は、県内では千葉市（若葉区、稲毛区）、佐倉市等の近隣市が多く、県外では東京圏である東京都、神奈川県、埼玉県からの転出入が多くなっています。
平成２７年の年齢別社会増減をみますと、１０歳未満と３０歳代の転入超過の傾向が強く、子育て世代の転入が多くなっている傾向でございます。

地区別の社会動態では、転出入者数は、「大日」「めいわ」「鹿渡」「和良比」が多くなっています。社会増の地区は、「めいわ」「もねの里」「大日」「物井」「和良比」等となっております。
一方で、昭和４０年代から５０年代に整備された「千代田」「みそら」等の大規模住宅団地では、社会減の傾向が強くなっています。ここまでが人口動態となります。

ここから先は、資料３の「四街道市後期基本計画課題マップ（案）」でご説明します。資料３をご覧ください。このマップは、基礎調査をまとめた資料となります。
まず、左上の「１社会環境の変化」として、（１）から（９）項目で基礎調査の内容をまとめています。

主なものとしては、「（１）人口減少・高齢化のさらなる進展」として、日本の人口が減少傾向となり、６５歳以上の人口も２６．６％となるなど高齢化が進展しています。

また、「（２）地方創生の推進」として、平成２６年に制定されました「まち・ひと・しごと創生法」により、人口減少の歯止め、地域活力維持を目的とした地方創生の取り組みが全国的に進められています。

次に、中央上部の「２.四街道市の状況等」ですが、こちらは本市の人口推移・人口動態や分野別の市の現況について、アからヌまでの２３項目で基礎調査の内容をまとめています。
「人口推移・動態」の項目については、先ほど説明した通りでございます。
続きまして、「分野別の市の現状」の項目についてですが、主なものをご説明します。
最初に、「エ」保育所定員数は年々増加しているものの待機児童が一定程度発生しています。
「オ」単身高齢者世帯が増加傾向、要支援・要介護認定者数も増加傾向にあります。また、在宅医療・介護支援センターが２９年度に開設されています。
「キ」学校別の児童生徒数の規模に不均衡が生じています。また、小中一貫教育等、教育環境の充実に努めています。
「ク」公共施設等の利用状況では福祉施設等の利用が増加傾向にある一方、公共施設等の老朽化も進んでおり計画的な更新が必要となっています。
「ツ」市民の主な就業先は市内就業が３割、市外の就業先として千葉市が増加し、東京都は減少傾向にあり、市内の失業率は減少傾向で推移しています。
「テ」本市の財政力指数は上昇傾向にあるものの、平成２８年度の経常収支比率は９９．７％

で県内最下位となっています。
「ト」平成２８年度に本市、千葉市、市原市の広域連携を開始し、定住促進や経済の活性化等の取り組みを開始しています。
「ス」建築確認申請数が高水準で推移しています。
「ヌ」市民の健康的な生活を支援するため、各種検診事業を実施し、集団検診のほか、個別検診を開始しています。以上が「２四街道市の状況等」となります。
続きまして、左下の「３上位計画の状況」の項目については、県の総合計画と地方創生総合戦略の基本目標などを抜粋しています。
次に、中央下部の「４市民から見た四街道」の項目については、平成２８年１１月に実施しました市民意識調査の結果概要と市民会議のテーマや課題等について記載しています。
最後に、中央にあります「後期基本計画におけるまちづくりの課題」の項目は、社会環境の変化、市の現況や、市民ニーズ等を踏まえ、これらを総合的に勘案して、後期基本計画におけるまちづくりの課題としてまとめたものでございます。
現在、四街道市総合計画の「序」に「６まちづくりの課題」を記載しておりますが、今回まとめました、これらの課題は、後期基本計画におけるまちづくりの課題として設定するものでございます。
課題は、８つの大項目と１９の中項目に分けて整理しました。
まず、この課題の見方でございますが、大項目として左側に８項目ございます。その右側には大項目に対する中項目を、その右側には本調査項目の該当番号箇所を記載しています。
例示で申し上げますと「１人口構造と超高齢社会への対応」をご覧ください。
この大項目は、右側に記載しています「（１）少子化への対応と子育て世代の定住促進」、「（２）子育て・教育環境の充実」、「（３）超高齢社会への対応」、「（４）結婚の希望を叶える環境の整備」を中項目としています。
そして、さらに右側のカッコ内の数字ですが、この図の大項目番号とその下の項目番号を記載したものとなります。例えば、「１（1,2,4)」とありますのは、この図の左上にあります「１社会環境の変化」の（１）（２）（４）が該当するという記載となります。
このように、社会環境の変化や市の状況、市民ニーズ等に対して、どの部分に該当する課題であるかを記載したものでございます。
前期基本計画の課題から変化があった課題としましては４項目ほどございます。
「１人口構造と超高齢社会への対応」の「（４）結婚の希望を叶える環境の整備」、こちらは、「１社会環境の変化」においても地方創生の取り組みが加わり、「２四街道市の状況等」においても「イ」の項目に婚姻率の減少がございますことから追加しています。
次に「５雇用の多様化と産業強化への対応」の「（２）就業ニーズに対応した多様な雇用の確保」、こちらは、「２四街道市の状況等」の「ツ」に記載しておりますとおり、市内就業が３割に留まること、市内の失業率のさらなる改善を図る必要がございますことから追加しています。
次に「６持続可能な行政運営」の「（２）自治体等との連携による効果的な行政運営」、こちらは、「１社会環境の変化」の「（２）地方創生の推進」と「２四街道市の状況等」の「ト」に記載しておりますとおり、地方創生の観点からも地域の特性を活かした取り組みを行うため、今後、千葉市、市原市との広域連携のさらなる強化や、大学や企業等との連携も重要となりま

すことから追加しています。
次に「８快適な住環境の整備に向けた対応」の「（１）都市基盤の計画的整備・更新や住宅資産の活用」、こちらは、「４市民から見た四街道」の「不満度が高い施策分野」に「道路・交通」が入っており都市基盤の計画的な整備と、「２四街道市の状況等」の「ウ」に昭和４０年代から５０年代に開発された市街地は、一部で転出超過が進んでいることから、今後想定されます空き家等対策として、住宅資産の活用を図る必要がございますことから追加しています。
なお、前期基本計画にありました「情報通信技術の活用」は、６持続可能な行政運営の（１）効率的・効果的な行政運営にまとめているところでございます。
以上が、この資料の説明となります。
続いて後期基本計画の骨子（案）について、ご説明します。資料４「四街道市後期基本計画骨子（案）」をご覧ください。
こちらは、今ご説明しましたこれらの課題に向け、前期基本計画の施策等を見直した後期基本計画の骨子案となります。
なお、基本構想に定めております「施策大綱」であります、基本目標と施策分野については、変更はございません。その下の施策以下を修正したものでございます。
修正箇所は、赤色で記載している箇所が前期基本計画からの変更箇所となります。
なお、番号のみ変更があったものは番号を赤色で記載しています。
基本的には、基本構想に定める将来都市像の実現を目指すための基本計画となりますことから、これを目的として策定した前期基本計画の施策体系に基礎調査で見えてきた社会情勢の変化や市の現状、まちづくりの課題等に対応するための修正を行ったものでございます。
また、資料５「分野別基本計画の骨子の考え方」としまして、前期基本計画の施策に対して、後期基本計画の施策がどのように修正されたかをまとめています。
それでは、資料５「分野別基本計画の骨子の考え方」をご覧ください。
資料の見方ですが、左の項目から「前期基本計画の施策体系」、「後期基本計画の施策体系（案）」、「変更有無」、次に「施策分野での対応課題」として先ほどのまちづくりの課題の該当箇所を記載しています。そして、次の項目に「体系変更等の考え方」を記載しています。
それでは、骨子案の主な変更点をご説明させていただきます。
もう一度資料４の骨子案をご覧ください。
「基本目標１」、「施策２」ですが、前期では、「家庭相談・家庭支援の充実」としておりましたが、より分かりやすい施策名称とするため、「子育て・家庭の支援」としました。
また、前期では、具体的な取り組みを「（１）相談支援体制の充実」「（４）ひとり親家庭への支援」としておりましたが、ひとり親以外の施策に対応するため「子育て支援サービスの充実」としました。
次に基本目標１の「施策６　福祉のまちづくりの推進」でございますが、前期では、具体的な取り組みとして、「（２）地域福祉活動の推進」でしたが、課題の超高齢社会への対応として、活動以外にも対応できるよう「地域福祉の推進」に変更しました。
また、前期の具体的な取り組みとして「（３）福祉活動拠点の整備・充実」とありましたが、こちらも同様に課題に対応するため、今後体制面も重要となることから「（３）福祉活動のための体制整備」に変更しました。

次に「施策７　健康づくりの推進」については、前期では、具体的な取り組みとして「（１）健康よつかいどう２１プランの推進」としておりましたが、ここの関連事業も多いことから、より施策をわかりやすくするため、具体的な取り組みを２つに分けて設定しました。
まず、課題にもあります子どもから高齢者までの健康づくりの支援の対応として「（１）健康の保持・増進」を、個別健診事業や特定健診などの事業の対応として「（２）健診・検診の充実」を設定しています。

次に基本目標３の「施策１６　義務教育の充実」については、具体的な取り組みとして、市の特色ある取り組みも多いことから、「（１）特色ある教育の推進」を追加しました。

次に「施策２０　社会教育施設の整備」については、前期では、具体的な取り組みとして「（２）公民館の整備・充実」としておりましたが、課題にもありますとおり、生きがいを持てる社会の形成に対応するため、「（２）公民館の活用・推進」に変更しました。

次に「基本目標５」の「施策３８　商工業の振興」について、前期では、具体的な取り組みとして「商工業の活性化」としておりましたが、課題として挙げられている産業強化と地域経済の活性、就業ニーズに対応した多様な雇用の確保に対応するため、名称を「地域産業の振興」に変更しています。

次に基本目標６の「施策４３　計画的・効率的な行政運営の推進」について、新たな課題として自治体、大学、企業等との連携による効果的な行政運営を図るため「（５）広域的な行政運営の推進」を追加しております。
以上が、骨子案の説明となります。本日は、この骨子案をお示しさせていただき、審議会のご意見をお聞きした上で、今後、市民参加条例に基づく、市民参加手続きであります意見交換手続きとして、この骨子案について、各中学校地区においてタウンミーティングを実施しまして、さらに市民の皆様から意見を頂戴する予定でございます。

それと先ほど荻津委員からございました子育ての関係、個別の内容でございますが、基礎調査の３３ページをご覧ください。こちらにこれまでの子育て支援の充実について現況をまとめているところです。特に子育て日本一という部分で、市長のお考えのなかで特に待機児童の解消に向けて保育所の整備をかなり進めてきているところです。また、マタニティベビー相談室というものも開設しております。最近では、病児病後児保育ということで、これは医療機関の方で一時的に子どもを預かれるというサービスを開始しているところです。それに加えてこどもルームにつきましては、全小学校において整備を完了しておりまして、さらに第２こどもルーム、第３こどもルームを整備しているところです。それと中学校３年生まで医療費の助成を行っておりますが、こちらにつきましては３５ページに県内自治体の状況を一覧にした資料を掲載しております。自己負担金という欄をご覧いただくとわかるとおり、四街道市は乳幼児から中学校３年生まで自己負担をとっておりません。他の市町村では一部自己負担をとっているところも多くあるところです。このように子育て支援全体の充実を図ることで子育て日本一を目指していこうという考え方と我々は思っておりますので、基本計画の中でもその意向を踏まえて作っていこうということでございます。
議題２につきましては、以上となります。

【会長】
ただいま事務局から説明がありましたが、整理いたしますと資料２のなかでは、市の人口動態を中心としたご報告、後半の方で、ページ数で言いますと１２５ページでまちづくりの課題として８つの項目を捉え、これを図に示したのが、資料３の課題マップということになります。この中で、上位計画との関係や市民の意向などを捉えてまちづくりの課題を設定されているということでした。後期基本計画の骨子案については、これらの課題を踏まえ、作成したものとのことでございます。また、前期基本計画からの変更点を赤字で示していただきました。
ここで先ほどご説明がありませんでしたのでお聞きしますが、前期基本計画の「未来創造プロジェクト」という形で３つのプロジェクトがありました。後期基本計画については「リーディングプロジェクト」ということで４つの形のものがありますがそれについてご説明ください。

【事務局】
リーディングプロジェクトにつきましては、現在、庁内でリーディングプロジェクトの専門部会を立ち上げて、各職員により検討しているところです。四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標との整合性を図るということの方向性を出しております。まずは総合戦略の基本目標をリーディングプロジェクトの名称として仮置きしている段階です。今後、事業を選定し、リーディングプロジェクトの設定を含めて詳細を検討していきたいと考えているところです。

【会長】
現在、仮ということでまだ決定したものではないとのことです。先ほどの「子育て日本一」の話のなかでご質問いただきましたが、それにつきましては、資料２の３３ページ以降で細かく説明がございました。荻津委員、こちらについてはよろしいでしょうか。

【荻津委員】
追加で１点ございます。乳幼児、幼児への子育て支援についてはしっかりとやられているようですが、学校教育の充実も重要であるかと思います。もっと厚みのある施策とすることが必要なのではないかと思います。

【会長】
場合によっては、先ほどのリーディングプロジェクトの関係で、今後検討する内容かもしれません。ご意見として賜りました。事務局何かありますか。

【事務局】
資料２の４１ページに子ども教育という項目で、小中一貫教育の取り組みや、英語教育の充実の取り組み、少人数学級の取り組み等を充実させていますので、その記載をしております。

【会長】
残りの時間については、特に後期基本計画の骨子案について、ご意見を賜りたいと存じます。

いかがでしょうか。

【松隈委員】
骨子を作るため、基礎調査を資料２でまとめていただいておりますが、このなかで、上位計画が整理されています。現在、市はまち・ひと・しごと創生総合戦略の効果が出てきていると思う。課題を整理するにあたっては総合戦略の良い部分も含めて課題に取り入れていくと良いのではないか。

【会長】
まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「まち」、「ひと」、「しごと」の分野に限った計画となっており、総合計画とは異なる計画であるので、総合戦略は、総合計画の上位計画ではないですね。上位計画としては、県の総合計画になる。あと、県が策定しているということで、県の総合戦略が記載されている。四街道市の総合戦略は、関連計画としての位置づけになるのではないのかなと思います。

【松隈委員】
後期基本計画の課題を抽出するにあたって、総合戦略を含めて課題を導き出してはどうでしょうか。基礎調査１０ページで人口のことが掲載されていますが、総合戦略は国と地方が一体となって２０６０年までを見据えて作られています。将来的には、四街道市の人口が７万８千人まで減少することから人口構造も変わってきますので、人口ビジョンの表などを参考として入れたらいいのではないかと思います。

【会長】
後期基本計画は、総合戦略との整合は図る必要はあるので、配慮していただきたい。総合計画は、市の最上位計画なので、総合戦略は関連計画。上位計画に入れるのではなくて、仮に入れるとするならば、上位計画・関連計画の状況などにするのか、他の場所に入れるなど配慮してください。

【事務局】
総合計画は市の最上位計画となりますが、この計画と四街道市が持つ個別計画は、すべて関連があるといえます。第１回の審議会においても申し上げたとおり、総合戦略についてはリーディングプロジェクトにおいてその内容を反映していこうと考えているところです。総合戦略の関連は高いものと認識していますが、その他の市の独自計画に比べて特別に関連が高いというわけではなく、すべての独自計画が関連しているものと考えます。総合戦略の取り組みとの関連性については、今後、リーディングプロジェクトのなかでお示ししたいと考えています。

【松隈委員】
総合計画を平成２６年度に開始し、まち・ひと・しごと創生総合戦略が１年後の平成２７年度に策定されました。これは国が指導したという形で出来たものと思いますが、この２つを比

べた場合、今やっている事業で共通になっているものも多い。例えば子育てなど、共通部分がかなりあるのではないかと思っています。そのため、私としては、この２つが１つとなって、今度の後期計画にしていくのではないかと考えています。総合戦略でこのようなことをやったという内容を課題の１つとして示してもよろしいのではないかと考えています。

【事務局】
地方創生に関しては、資料２の８４ページをご覧いただきたいのですが、こちらにまち・ひと・しごと創生法の関係を記載させていただきました。また、総合戦略についても全国の市町村が総合戦略を策定した動きなどもこちらに記載し整理しているところです。例えば課題の中の結婚支援に関しましても、地方創生の観点から課題として取り上げております。そのため、地方創生に関しては、分野別の課題としていくつかあげているという状況にあります。全体として取り上げてしまいますと焦点がぼやけてしまう懸念もありますので、部分、部分としての課題として整理させていただきました。

【松隈委員】
私がこのように考えたのは、リーディングプロジェクトの項目が総合戦略と一致しているようですので、地方創生のことをもっとそこに織り込んでも良いのではないか。そうした方が市民もわかりやすくなるのではないかと考えたところです。

【会長】
四街道市総合計画は、後期基本計画として、前期基本計画と整合は当然取らなければいけないということになります。また、リーディングプロジェクトは仮置きということになっておりますが、未来創造プロジェクトに変わるものとして今後、出てくるものとして、それは十分地方創生も踏まえたものとして、そして尚且つ地方創生で書かれていた内容についても行っていくということで、十分整合性が取られているということで理解しました。

【松山委員】
資料２のなかで、６５歳以上人口が２８％に達していることに私は関心を持っています。お聞きしたいのは、資料２の４ページの人口に関して、労働人口が減少してきている。私の推測では、６５歳以上の人が増えているから、特に男性のそれが著しいのではないかと思っておりますが、この考えが正しいのかどうか教えていただきたい。また、次に資料２の６７ページとなりますが、こちらに就業支援が書かれています。県やハローワークと連携した施策として、自治体の実態はどのようになっているかという点が気になっております。次に７６ページの歳入に関して、２８年度に減少しているようですが、人口が増加する中で収入が減ったということは、もしかしたら労働人口の減少が影響しているのか、ということを知りたいと思っています。
次に資料５の１ページの高齢者支援についてお伺いします。こちらには社会参加であったり、生きがいを持てる社会の形成ということで、いろいろな生きがいがあるのではないかと思っていますが、この中で就業に関する生き甲斐は考えておられるのか。また、資料５の６ページ産

業就業支援の中の就業支援の充実がありますが、高齢者の就労支援という意味でまだまだできていないのではないかと思っています。少し戻っていただいて４ページの子ども教育について、全般の中でいろいろとお考えいただいているところであると思いますが、本市の何か特色のある教育、例えばいじめ撲滅の取り組みやモノづくり体験教室等の取り組みなど、そういったものがあるのか。最後に資料５の６ページ、地域産業の振興について、中小企業の支援、国においても商店街の活性化などを打ち出しておられると思いますが、国の施策とどう連携するのか。お分かりの範囲内において教えていただきたい。

【会長】

一旦整理させていただきますと、質問の１点目として、基礎調査の中で出ておりました人口の部分について、労働人口が減少しているのではないかということ。それと財政面の話しと就業支援について、現状、わかる範囲で回答していただきたいということ。２点目として、後期基本計画に係る部分として、高齢者の活動できるようなものとして就業支援と生きがい対策について、３点目として子ども教育について、４点目として地域産業の振興について、現時点でのお考えというところ以上４点について教えていただきたいということでよろしいでしょうか。それではお答えできる範囲で事務局お願いいたします。

【事務局】

資料２の９ページをご覧ください。生産年齢人口が減少傾向にあることがこちらの資料からご覧いただけると思いますが、労働人口についても同様に減少傾向にあると考えられます。一方で、本市の年少人口比率は国、県平均よりも高いという特徴がございます。地方創生の話しにもつながる内容となりますが、現在、日本の人口は１億２千万人となりますが、この人口がどんどん減少していくということが言われています。このままの状態で推移すると本市においても将来的に人口が減少していくものとなります。このため、人口を維持していくということが課題であるといえます。自然増減の中で人口を維持することのできる合計特殊出生率として、２．０７が国の目標となっております。本市は、現在そこまでの水準に達していないことから、我々が今後やっていかなければいけない施策の１つとして自然減を抑える取り組みをやっていかなければならないと考えています。現在、本市は生産年齢人口が減少傾向にあるので、若い人の転入を促進していかなければならないと考えております。

次に、財政面についてお答えいたします。歳入につきましては、平成２８年度は市税が増加傾向で推移しているところです。今後、生産年齢人口が減少すれば、市税も減少する可能性があるということは理解しているところです。次に、高齢者の生きがいづくりについては資料２の４３ページをご覧ください。生涯学習ということで「まなびいガイド」「アシスト事業」等を実施しており、このような取り組みも生きがいづくりの一環になると考えています。次に、地域産業の振興に関しては、資料２の６１から６４ページにあるように、創業支援、空き店舗活用も行っている状況でございます。その他に６６ページにありますとおり、観光に関して、鹿放ケ丘の事業、ｉｃｏｂａ四街道の事業等を行っているところです。次に教育に関しては、４３ページにスクールカウンセラーの取り組み、青少年育成センターにおけるスクールソーシャルワーカーの相談事業を行っており、教育サポート室というものも平成２８年度に整備してお

り、ここでもいじめ等の問題に対処している。また、「いじめ撲滅キャンペーン」ということを各学校で、児童・生徒が考えたキャンペーンとして取り組みとしてはやられているところです。

【松山委員】
高齢者の就業支援については、求人と求職者のマッチングが難しいとお聞きます。千葉市や市川市ぐらいの都市でも難しいと聞いていますが、四街道市でもぜひはじめていただければと思います。支援制度があることを知らない方もいるとお聞きしますので周知していくことが必要ではないかと考えています。
最近、厚労省において「ものづくり体験魅力出前講座」というものを行っていますが、これについて伺ったところ、子どもたちの連帯感がよくなっていると聞きます。四街道市においても今後取り組んでいかれてはどうかと思っています。

【会長】
具体的な施策検討の参考として頂きたいと思います。他にありますでしょうか。

【伏見委員】
前期基本計画の達成見込みに関して、一番突出するものとして基本目標２の安全防災対策について遅れが生じているところです。その理由として、調整の遅れや調査に時間が要する等の問題点が上っているところです。それを見たうえで、後期基本計画の骨子をみると、基本目標２だけ項目に変更がない。前期計画の達成状況の中で問題点としてあげられていない状況にあるので、後期基本計画の骨子についても、何らかの変更が必要なのではないかと考えます。

【会長】
後期基本計画骨子案の基本目標２のところですね。

【伏見委員】
財源がからむ問題で遅れているのであれば、そのまま後期に引き継ぐことになるので、後期基本計画の骨子では、前期の計画と達成状況を見て何かしらの変更が必要ではないかと思います。

【会長】
それについてはいかがでしょうか。

【事務局】
事務局としては、事業が遅れているから、骨子の変更が必要になるとは考えてはおりません。今後、遅れている事業については、より推進していかなければならないという観点がありますので課題であると認識はしていますが、今後、遅れている事業をさらに継続して進めていかなければならないものとして考えています。

【伏見委員】
この中で問題になるのは、前期基本計画期間内で終わらない、時間的に足りないということ、また、財源不足で事業が実施出来ないという２点だと思います。施策の考え方で骨子も変わると思いますので、施策に遅れが生じているのであれば、骨子の変更についても必要なのではないかと考えます。関連機関との調整や時間、財源との関係で遅れが出ているのであれば、それを踏まえたものとして見直ししたことがより見える形にされた方がよいのではないかということです。

【会長】
先ほどから出ておりますとおり遅れの理由については２つの大きな理由があると思います。１点目は、関連者や関係機関と調整に時間を要しているということ。２点目については予算がついていないということ。骨子はこれでよいかもしれませんが、前期計画での事業の遅れについては課題と認識して、後期期間に入っていかないとまた先送りになるだけというご意見ですね。

【伏見委員】
骨子案で見える形にしていただかないと、市民の皆さんには伝わらないのではないかと危惧しているところです。

【事務局】
骨子の体系については、現状の案で行きたいと考えますが、施策の下に位置付ける事業については見直しを考えているところです。ご意見につきましては骨子の範囲までを変えるほどの大きな要素ではないと考えます。施策に位置付ける事業の見直しについては、前期基本計画の進捗状況をまたお示しした中で、その議論があると考えています。

【会長】
伏見委員のご意見は、現状を認識してより積極的にやっていくというスタンスは出した方が良いというご意見だと思いますので、各施策の中で「現状と課題」という項目があると思いますので、この中で、「遅れが生じているため、後期においてはより積極的に進める」などの、文言をその中に入れていくという方法もあるのかなと思います。

【伏見委員】
そうですね。しかし、前期でこれだけ遅れている中、後期計画の期間内で、全部できるのですか、ということを言われるのではないかということです。

【会長】
やらないものは計画に書かれないと思いますので、書かれていれば実現に向けた取り組みを進めると思います。
これだけ見ると変更がない、そのままでいいのではないかということにはならないと思いま

す。当然、施策に位置付ける事業であったり、施策の中の現状と課題の部分において、何かしらの対応をしていくということかと思います。

【事務局】
遅れている事業の推進を図るということは理解しております。ただし、遅れている事業の中には、改修、改築に関する事業も多く含まれており、課題マップの中にもお示ししてあるとおり、公共施設の老朽化を踏まえた計画的な施設の長寿命化や更新を課題としてあげているところです。その長期的な取り組みの計画として「公共施設等総合管理計画」を現在策定中でございます。今後、この計画との整合性を図っていく必要があることから、特に防災備蓄倉庫等の遅れが生じている事業についても、今後どうしていくべきか、これを課題として示してもよいのではないかと考えます。

【横内委員】
骨子案の施策を全て行っても、将来都市像の実現は難しいのではないかと思います。こちらの施策を行えば、今住んでいる方の転出は抑えられるかもしれませんが、市外の方が四街道市を知らなければ、転入される人は増えないと思います。また、市が独自で取り組むスクールカウンセラーさんがいることなども、市民に伝えなければ、市民もわからないのではないかと思います。市の独自性や特色を示さなければ、転入者の増加にはつながらないのではないでしょうか。

【会長】
シティプロモーションとの関係もあるご意見かと思いますが。事務局いかがでしょうか。

【事務局】
市では、シティセールスということで専門的な組織を立ち上げて、施策を推進しているところです。先ほども会議開会前に動画をご覧いただきましたが、認知度向上のために現在さまざまな取り組みを進めているところです。今後も市の強みなどをお示しし、シティセールスを推進していきたいと考えています。

【鈴木委員】
リーディングプロジェクトは仮置きなので、推測となりますが、転入者を増やすような移住施策をどこかに位置づけると、総合戦略との関連性がよくなるのではないかと思います。産業・雇用など、他の施策の関連性は見えてきていますが、移住については見えてこないので申し上げました。シティセールスになるかもしれませんが。あと、文言の問題ですが、施策１６だけ「特色ある」と記載されていますが、他は特色がないのかと言われてしまうのではないかという懸念があります。

【会長】
移住定住に関してはどちらで記載されるのですか。

【事務局】
移住定住施策は、リーディングプロジェクトに入れる予定で考えているところです。また、「特色ある」に関してはいろいろと事務局でも考えたところです。本市は、小中一貫教育等の取り組みがあるので、このような表現としたところです。

【会長】
１つだけ「特色ある」が入っているので、他の取り組みにおいても入れられるか検討してみてください。

【荻津委員】
今のところにも関係があるので質問させていただきますが、施策１６の「特色ある教育の推進」はよろしいかと思いますが、私としましては、教育は基礎基本の充実が最初にあるべきと考えますので、施策の順番としましては、（２）と（１）を逆にされたほうが良いのではないでしょうか。
今の四街道市の教育についてご紹介しますが、他市町村から四街道市に異動してこられた先生も環境が良いという評価をされております。児童生徒も大変良い状況にあります。その中で一昨年に小中学生の「子どもサミット」というのを開きまして、インターネットなどの使い方について、子ども達自身で案を出しながら論議をし、案をまとめてそれをまた各学校に持ち帰ってもらい、各学校で取り組みの目標を立てるということで、その効果が出てきていると感じています。いじめにつきましては、子ども自身がいじめをなくそうという方向に向かっていかなければなくなりませんので、このような取り組みも紹介させていただきました。

【事務局】
施策の順番については検討させていただきます。

【森竹委員】
質問ですが、シティセールスの関係で、四街道市さんは以前からユーチューブなど、動画を活用されるなど非常に積極的なシティセールスをなされています。本日、会議前に流されていた動画について、市民の評判はどうであったのか、何か意見が出されているのであればそれをお聞きしたい。
また、意見として、課題マップの４番目の市民意見について、四街道市のまちづくりにつきましても上の「住み心地」と同様に構成比を入れられてはどうかと思いました。
あと、意見の２つ目ですけれども今日の会議の中でも委員さんから高齢者施策のご意見が出ておりましたが、これから千葉県は全国トップレベルの人口の高齢化が進んでいきます。２０２５年になりますと後期高齢者が急激に増えるということになります。四街道市さんも団地が多かったので同様の状況ではないかと思います。そのような中で、施策分野の高齢者支援の地域包括ケア、本日は骨子の段階であることから詳しい中身はわかりませんが、今後、こちらについてしっかりと取り組んでいくことで市民の安心につながるのではないかと思います。

【会長】
今のご意見につきましては、１点目が動画に関する市民からの意見の有無について。２点目が課題マップについて。３点目が高齢者の支援についてですがいかがでしょうか。

【事務局】
動画に関しては、シティセールス推進課が担当となっております。ユーチューブにおいて再生回数３０万回と伺っています。なお、市民からのご意見に関しては、特に伺っておりません。２点目の課題マップの構成比の件につきましては工夫いたします。３点目の高齢者支援施策については、ご意見をふまえて検討してまいります。

【会長】
いかがかでしょうか。最後に整理いたしますが、１点目として、四街道市の総合計画は最上位ではありますが、総合戦略との整合性を図るべきという意見がありました。その役割がリーディングプロジェクトであると理解しています。２点目として、後期基本計画は、前期基本計画の達成状況をふまえて検討すべきという意見がありました。特に、安全・安心に関する施策の遅れについて評価するとともに、計画の現状と課題に反映させるべきとの意見を頂きました。３点目として、市長の「子育て日本一」につながる取り組みが、リーディングプロジェクト等に反映できるものとする３つの意見に集約できると思いますので、検討していただきたいと思います。
骨子案のフレームとしては了解いただいたと理解しており、本日の第２回総合計画審議会のまとめとさせていただきたい。
個別の意見として、施策の順番や言葉の表現についての意見が出ましたので検討していただきたいと思います。また、高齢者支援、子ども教育や子育て等については、具体的な施策を検討する段階で、ご意見を賜りたいと思います。
最後に議事（３）その他について　事務局より説明をお願いします。

【事務局】
今後のスケジュールについてですが、３月議会で後期基本計画骨子案を説明いたします。その後、５月に後期基本計画骨子案を市民の皆様に説明するタウンミーティングを開催する予定でおります。したがって、次回の審議会は、タウンミーティングの報告も兼ねて、５月以降の開催を予定しております。日時につきましては、改めて通知します。

～閉会～

【会長】
以上で、平成２９年度第２回四街道市総合計画審議会を終了します。
ありがとうございました。

以上

会議録署名人　　平川　裕

会議録署名人　　荻津　雅史